

開催要綱

お
好いとっちゃん



介護の仕事

持ちよう
援助実践

たしかめよう
自信と誇り

とり戻そう
公的福祉を



21・老福連 第9回職員研究交流集会 ふくおか

日時

2009年12月5日(土)～7日(月)

1日参加からOK

会場

全体会・分科会 福岡大学
交流会 KKRホテル博多

参加費

3日間参加 10,000円 2日間8,000円 1日間6,000円
12月7日開催の「市民講座」:市民・学生は参加費無料

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)

TEL 075-494-1115 FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp

主催：21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会（略称＝21・老福連）

後援：福岡県、福岡市、福岡県老人福祉施設協議会、福岡県社会福祉協議会、福岡市社会福祉協議会、読売新聞西部本社、西日本リビング新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社、FBS福岡放送、RKB毎日放送、九州朝日放送、TVQ九州放送（以下、すべて依頼中）福岡市老人福祉施設協議会、社団法人福岡社会福祉士会、社団法人福岡介護福祉士会、社団法人福岡介護支援専門員協会



「21・老福連」参加施設のみなさん
全国の老人福祉施設関係者のみなさん

「21・老福連」参加施設のみなさん・全国の老人福祉施設関係者のみなさん

わたしたち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称 21・老福連)は老人福祉の新しい施設連絡会組織として2002年6月に発足致しました。発足にあたって、申し合わせ事項として

介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う。

高齢者主体の援助実践・ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する。老人福祉の向上をめざす活動・社会保障を守る活動などを諸団体と協同・連帯し積極的に進める。

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

この間の各施設団体・職員の訴えがみのり2009年には3%の介護報酬プラス改定を実現することができました。しかし、前回までの2回にわたる介護報酬の切り下げ5.7%は回復されず、今回改定が赤字の穴埋めにしかならない、介護職員の待遇改善まで回らないと言う施設も多く、公的福祉の確立めざし更なる運動の継続が必要です。

群馬「たまゆら」の火災に胸を痛み、こうした事件が起こらないと公的施設の不足が取り上げられない、福祉に携わる職員の努力にのみ支えられる福祉の仕組みを変えないと、本当に「福祉が人を殺してしまう」時がやってくると思います。

世界同時不況により、介護が安定した仕事として再度注目されていますが、簡単にできる仕事でないことは職員自身が一番良く知っています。厚労省の諮問機関の委員さえ、「介護職に専門性はない」と言い切るこの国の福祉行政の中で、介護業務の専門性の確立は介護職員自身が行っていかなくてはなりません。その意味でも、継続されてきた、21・老福連の「職員研究交流集会」の意義は大きいものがあります。今年もぜひ、多くの介護実践を持ち寄り、福岡集会を成功させましょう。職員・関係者の皆様の参加をお待ちしています。

日時

2009年12月5日(土) 13:00~17:00 (交流会19:00~)
12月6日(日) 9:30~17:00
12月7日(月) 9:00~12:00

会場

全体会・分科会
交流会
福岡大学
KKRホテル博多

参加費

3日間参加 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
12月7日開催の「市民講座」:市民・学生は**参加費無料**
宿泊 7,485円~(シングル・朝食つき)
ランクに応じてご用意しております。先着順のためお早めにお申し込みください
交流会 8,500円 (恒例です!「早いもん勝ち」で全国の地酒が飲み放題)

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会 (略称=21・老福連)
TEL 075-494-1115 FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp

お問い合わせ先

<現地実行委員会事務局>

社会福祉法人 ちどり福祉会 特別養護老人ホーム いきいき八田 (担当:和田峯)
TEL 092-691-5089 FAX 092-691-5254 E-mail ikiiki.8ta@gol.com

申込方法

別ページに、トップツアーからのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにてトップツアーにお申し込みください。

参加申し込み締め切りは9月19日(土)です

集会2日目の分科会における「演題発表」の受付は老福連事務局となります。お間違えないよう、別ページ「演題募集用紙」をご確認ください。開催の約1ヶ月前には、トップツアーより請求書とともに参加券が発送されます。



集会のテーマ

好いとっちゃん、介護の仕事

～ 持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～



目的

今集会は宅老所の原点となった「よりあい」の下村代表の講演からクロストークでの交流まで、「認知症での実践」を深め、学ぶチャンスです。最終日の山田達夫先生の「物忘れ外来と地域のサポート」は福岡大学の「市民講座」として無料公開の予定です。

福祉の仕事はヒトが相手の仕事です。モノでなくヒトなのだという認識は、入所者・利用者にも、働く介護職員すべてに言えることです。そして働きかけにより変化すること、その経過に喜びを見いだすこともヒトでこそです。私たちは、「好いとっちゃん、介護の仕事」というテーマに福祉の仕事の創造性と介護を担う職員の生命力への期待の意味を込めました。いろいろあるけど「好いとっちゃん介護の仕事」を夜を徹して語り合しましょう。



プログラム

1日目

12月5日(土)

< 全体会 >

福岡大学 8号館 831教室

12:30 ~	受付開始
13:00 ~ 13:15	歓迎セレモニー 「ようきんしゃった！」 戸畑祇園山笠、お囃子披露
13:15 ~ 13:30	開会の挨拶・来賓からの挨拶
13:30 ~ 14:00	21・老福連からの基調報告
14:00 ~ 15:00	特別講演 「好いとっちゃん！この仕事」 講師 下村 恵美子 氏 (福岡ひかり福祉会 宅老所よりあい 代表)
15:15 ~ 17:05	クロストーク 「認知症を地域から・施設から考える」 司会 みさき病院 田中医師 演者 自治体と連携した地域づくりの現場から デイサービスの認知症ケアの実践現場から 施設の認知症ケアの実践現場から 家族の会から
17:05 ~ 17:15	事務連絡・1日目終了

< 交流会 >

ホテルKKR博多

19:00 ~ 21:00	毎年恒例となった交流会！現地の職員さんが手づくり企画でみなさんを歓迎します！！ 今年の担当は、「老福連の集会にも交流会に参加したことがない！」という九州は熊本チームによる、おたのしみ企画。これまでとは一味違った宴で、みなさんで大いに盛り上げてください！ もちろん、全国の参加者から持ち寄られた「地酒」にも乞うご期待！
---------------	--

2日目

12月6日(日)

< 分科会 >

福岡大学 A棟 6階・7階

9:30 ~ 17:00	11分科会、19会場(予定)で繰り広げられるアツい議論！（詳細は次々ページより）
--------------	--

3日目

12月7日(月)

< 全体会 >

福岡大学 8号館 831教室

9:00 ~	3日目開始
9:00 ~ 10:00	特別講演 「ものわすれ外来と地域でのサポート」 講師 山田 達夫 氏 (福岡大学医学部 神経内科学教室 教授)
10:00 ~ 10:45	介護現場からのメッセージ・トーク 現場職員が語る「好いとっちゃんトーク」
10:45 ~ 11:45	特別講演 「介護にたずさわる方への応援歌」 講師 林田 スマ 氏 (大野城まどかびあ男女平等推進センター 所長)
11:45 ~ 11:55	今回の集会のまとめ 実行委員長あいさつ
11:55 ~ 12:00	次回開催地よりあいさつ 終了



一日目全体会 ～ 12月5日 ～

特別講演 I 好いとっちゃん、この仕事が！

～ 地域で老いを支えるために ～ 宅老所よりあいでの実践

講師 下村 恵美子 氏 (宅老所よりあい 代表)

講師プロフィール：1952年生まれ。「宅老所よりあい」代表。社会福祉士、介護支援専門員。高校卒業後8年間金融機関で働く。祖母のぼけの世界とつき合っ、30歳の時に「人間相手の仕事がしたい」と福祉大学に入学。卒業後デイサービス、特別養護老人ホームで職員として働き、1991年11月より宅老所に取り組む。



クロストーク 認知症を地域から・施設から考える

クロストーク「認知症を地域から・施設から考える」

司会 みさき病院 田中医師

自治体と連携した地域づくりの現場から	福岡県 大牟田市の実践
デイサービスの認知症ケアの実践現場から	長崎県 認知症対応型デイサービス「きらり」
施設の認知症ケアの実践現場から	福岡県 特別養護老人ホーム
家族の会から	老いをささえる北九州家族の会



三日目全体会 ～ 12月7日 ～

特別講演 II もの忘れ外来と地域でのサポート

講師 山田 達夫 氏 (福岡大学医学部 教授)

講師プロフィール：1948年4月9日生まれ。東京医科歯科大学医学部卒業後、仏国ブザンソン大学、カナダブリティッシュコロンビア大学、キンズメン研究所留学後、各大学神経内科、神経内科学講師及び教授を歴任し、現在福岡大学医学部第5内科教授として活躍中。山田達夫教授(医学部神経内科)講演



特別講演 III 介護にたずさわる方への応援歌

講師 林田 スマ 氏 (大野城まどかぴあ男女
平等推進センター所長)

講師プロフィール：元RKB毎日放送アナウンサー。結婚のためRKBを退社後、9年間の専業主婦を経てフリーアナウンサーの仕事に復帰。現在もテレビやラジオ番組を中心に企業やPTAの講演などを行う。96年、大野城まどかぴあ女性センター所長就任。筑紫女学園大学非常勤講師も務める。

第9回職員研究交流集会 分科会一覧 < 11分科会 19会場 >

NO	分科会名	テーマ	分科会	分科会名	座長	助言者
A	01 施設でその人らしい暮らしを支える	暮らしの場として入居者自身がお互いの関わりや毎日の暮らしをどのように作り出しているのか実践を持ち寄りましょう、またより重度化していく中での特養での暮らしのあり方を検討していきましょう ・重度化、胃ろうなど医療処置の増加への対応 ・創製し体制の中でも、工夫しながら「その人らしい暮らし」を支える ・創製工夫をしながらすめられているユニット・グループケアの実践 ・小規模・小集団ケアのメリット、デメリット、課題 ・実践を通して入居者や職員がどう変わったか ・認知症高齢者の尊厳を守るための支援 ・逆デイ、老幼ケア、ふるさと訪問など、地域との交流の経験 ・09改訂・加算をどう見るか	A-1	新型・ユニット型を中心に	奈良 こがねの里 施設長 宋 孝	岡山 健生園 施設長 竹永 徹
A	01 施設でその人らしい暮らしを支える	暮らしの場として入居者自身がお互いの関わりや毎日の暮らしをどのように作り出しているのか実践を持ち寄りましょう、またより重度化していく中での特養での暮らしのあり方を検討していきましょう ・重度化、胃ろうなど医療処置の増加への対応 ・創製し体制の中でも、工夫しながら「その人らしい暮らし」を支える ・創製工夫をしながらすめられているユニット・グループケアの実践 ・小規模・小集団ケアのメリット、デメリット、課題 ・実践を通して入居者や職員がどう変わったか ・認知症高齢者の尊厳を守るための支援 ・逆デイ、老幼ケア、ふるさと訪問など、地域との交流の経験 ・09改訂・加算をどう見るか	A-2	従来型を中心に	新潟 しおかぜ荘 施設長 松井 裕	北海道 かりぶ、あつべつ 施設長 石井 秀夫
A	01 施設でその人らしい暮らしを支える	暮らしの場として入居者自身がお互いの関わりや毎日の暮らしをどのように作り出しているのか実践を持ち寄りましょう、またより重度化していく中での特養での暮らしのあり方を検討していきましょう ・重度化、胃ろうなど医療処置の増加への対応 ・創製し体制の中でも、工夫しながら「その人らしい暮らし」を支える ・創製工夫をしながらすめられているユニット・グループケアの実践 ・小規模・小集団ケアのメリット、デメリット、課題 ・実践を通して入居者や職員がどう変わったか ・認知症高齢者の尊厳を守るための支援 ・逆デイ、老幼ケア、ふるさと訪問など、地域との交流の経験 ・09改訂・加算をどう見るか	A-3	認知症の方のケア	山形 とかみ共生苑 施設サービスポ 次長 阿賀 好美	愛知 蒲郡眺海園 施設長 早川 昌宏
A	01 施設でその人らしい暮らしを支える	暮らしの場として入居者自身がお互いの関わりや毎日の暮らしをどのように作り出しているのか実践を持ち寄りましょう、またより重度化していく中での特養での暮らしのあり方を検討していきましょう ・重度化、胃ろうなど医療処置の増加への対応 ・創製し体制の中でも、工夫しながら「その人らしい暮らし」を支える ・創製工夫をしながらすめられているユニット・グループケアの実践 ・小規模・小集団ケアのメリット、デメリット、課題 ・実践を通して入居者や職員がどう変わったか ・認知症高齢者の尊厳を守るための支援 ・逆デイ、老幼ケア、ふるさと訪問など、地域との交流の経験 ・09改訂・加算をどう見るか	A-4	重度化への対応	広島 くすの木苑 調整中	群馬 誠の園 施設長 山口 千春
B	02 施設の暮らしの中で食を支える	重度化に伴う食形態やユニットケア体制における現場調理や療養食加算の算定など施設における食の形態やあり方が複雑さを増してきました食事のあり方、課題について論議しましょう ・介護報酬改定が食の提供に及ぼしている影響や経営面での影響 ・一人一人に合わせた食の提供の工夫、委託業者との連携 ・最後まで食べる楽しみを継続する取り組み、生きた栄養ケアマネジメント	B	食を支える	大阪 いのこの里 施設長 山本 智光	福岡 いきいき八田 管理栄養士 森山 史世
C	03 施設の暮らしの中で医療・健康管理を考える	健康管理をはじめ感染症対策、対応がより求められています。 ・生活を支える看護、他専門職の役割、あり方 ・他職種との連携、課題 ・高齢者施設における医療のあり方と医療機関との連携 ・感染症対策の取り組み ・「看取り」の実践 ・介護職の医療行為について（医学的知識・業務手順等）	C	医療・健康管理を考える	東京 みやま大樹の苑 医務・リハビリ科長 稲垣 瑞恵	長崎 老人保健施設 恵仁荘 施設長（医師） 山下 兼彦
D	04 在宅生活を支える デイ・ショート事業	国の政策は施設から在宅へとますます強められており、重度の在宅生活者が増加する事が予測されます。在宅生活を支えるデイやショートのあり方を論議しましょう ・利用することで本人家族はどのように変化し暮らししているか ・デイ・ショートを一時的に取り組んでいるところの実践事例 ・多様化する利用目的への対応（ケアプランとの連動、長時間型、夜間型など） ・事故防止の取り組み ・業務の工夫改善・利用者拡大の取り組み ・ショートにおける個別の援助とは？ ・介護予防（デイ）への取り組み、その効果 ・個別機能訓練、口腔ケア、栄養マネジメントの取り組み ・家族との連携、家族に対する相談、援助、認知症への援助 ・デイ、ショートにおける各職種の役割と連携	D-1	ショートステイのとりくみを中心に	新潟 あしぬま荘 調整中	福岡 あゆみ老人訪問看護ステーション 所長 林 ゆかり
D	04 在宅生活を支える デイ・ショート事業	国の政策は施設から在宅へとますます強められており、重度の在宅生活者が増加する事が予測されます。在宅生活を支えるデイやショートのあり方を論議しましょう ・利用することで本人家族はどのように変化し暮らししているか ・デイ・ショートを一時的に取り組んでいるところの実践事例 ・多様化する利用目的への対応（ケアプランとの連動、長時間型、夜間型など） ・事故防止の取り組み ・業務の工夫改善・利用者拡大の取り組み ・ショートにおける個別の援助とは？ ・介護予防（デイ）への取り組み、その効果 ・個別機能訓練、口腔ケア、栄養マネジメントの取り組み ・家族との連携、家族に対する相談、援助、認知症への援助 ・デイ、ショートにおける各職種の役割と連携	D-2	通所のとりくみを中心に	大阪 いのこの里ケアプランセンター 管理者 益田 洋平	福岡 愛・あいデイサービスセンター 管理者 山田 直樹

NO	分科会名	テーマ	分代会	分代会名	座長	助言者
E	05 育ち合い育てあう 職場づくりをめざして	<p>(青年の広場) 福祉の職場での働きがい生き甲斐について語りましょう ・どんな職員に成長したいか、なりたいか ・研修、職場運営に望むこと ・学び合い育ちあえる職場運営の経験 (より良い職場づくりのために) 働きがいある職場作りの基礎は民主的 management 運営です。中間管理職の立場の悩みや課題も率直に出し合いながら論議しましょう ・リーダーシップ ・職場会議の持ち方、職場運営 ・求められる中間管理職、果たす役割 ・研修制度、人事育成 ・職場におけるメンタルヘルスの取り組み、課題</p>	E-1	青年の広場	石川 やすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	富山 老人保健施設 レインボー 副施設長 山田 麗子
			E-2	より良い 職場づくりのために	静岡 芳川の里 施設長 宮形 淳	大阪 社会福祉法人こぼと会 法人事務局長 正森 克也
F	06 人としての尊厳と 安心・安全な 生活を考える	<p>日常の暮らしの中でリスクは避けられませんが、利用者・家族との信頼関係の構築本人の尊厳を大切にしながら安全に安心して暮らしていただくための取り組みについて実践を持ち寄り論議しましょう ・ヒヤリはったの取り組み ・発生した事故から学んだこと ・転倒防止の工夫 ・事故防止の取り組みや体制 ・身体拘束、虐待防止の取り組み</p>	F	人としての尊厳、 安心・安全な生活	東京 みやま大樹の苑 施設長 相羽 孝昭	福岡 福岡弁護士会 あいゆう 弁護士で調整中
G	07 地域で 暮らし続ける	<p>高齢者が地域の中で暮らしていく上で認知症のケアはたくさん課題を抱えています。独居・老老・認知介護への働きかけや地域に向けた啓蒙・認知症サポーター、ネットワーク作り、家族フォローや介入などの経験を持ち寄り論議しましょう (訪問介護) 度重なる制度改正に利用者、家族は大きな影響を受けました。それをどう乗り越えてきたのか、また地域との連携や社会的地位の向上にどんな実践を行っているのか、経験を持ち寄り討議しましょう ・領の向上の取り組み・サービス提供者の役割 ・ネットワーク、地域づくりの取り組み、「同居家族」問題など制度矛盾への対応 (グループホーム) 地域密着型サービスとして、地域の中でのグループホームの存在、あり方、重度者の生活の仕方やケアの質が問われています。経験を交流しましょう ・グループホームでのケアのあり方、「看取り」「家庭復帰」へのとりくみ ・グループホームと地域との関わり、「家族会」や「運営協議会」の機能 (居宅介護支援・地域包括支援センター) 地域作りやネットワーク作り、困難事例への対応、公的責任の問題など経験をもち寄りましょう ・連携の課題、地域の課題 ・権利擁護、行政との関係 (小規模多機能施設) 地域で暮らし続けるためのサービスとして期待されましたが、実践を通してメリットともに、多くの問題も浮かび上がってきています。取り組みや課題について検討しましょう</p>	G-1	ホームヘルプサービス を中心に	福岡 ヘルパーステーション たすけ愛の会ひまわり 所長 吉富 薫	福岡 日本ホームヘルパー協会 北九州支部 会長 坂本 幸美
			G-2	グループホームケア を中心に	島根 ひまわり園 施設長 常陸 実	福岡 グループホームらいふ 管理者 江水 寿美江
			G-3	居宅介護支援、 地域包括支援センター、 在宅介護支援センター	東京 信愛泉苑 施設長 武田 恵	福岡 千鳥橋病院 介護支援セン ター 所長 矢野 美代子
G-4	小規模多機能施設	京都 社会福祉法人七野会 常務 橋本 信夫	福岡 医療法人親仁会 介護福祉事業部部長 早川 龍太			

NO	分科会名	テーマ	分科会	分科会名	座長	助言者
H	08 地域や利用者・家族に 支えられた 施設づくりのために	施設職員以外の参加者の意見を聞き、地域に支えられた施設運営、職員との関わりなど 大いに議論しましょう。家族会や地域の方など大歓迎 ・地域に根ざした施設運営、新規事業計画 ・施設を支える会の活動交流、家族会活動、ボランティア活動 ・苦情や意見の施設運営への反映 ・利用者アンケート、利用者満足度調査と運営改善運動など ・地域の要望に応えた法人の自主事業、ふくしの町づくりへの参加	H	地域や家族に 支えられた施設づくり	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修	福岡 デイサービスひまわり はらだ 管理者 小池 多恵子
I	09 有料ホーム・ケアハウスなど 「高齢者住宅」のあり方を 考える	ケア付き住宅、有料老人ホーム(住宅型、介護付き)、高専賃・高専賃など多様な住まいが どんどん作られています。どうすれば安心の住まい、終の棲家になり得るのか、実践を持 ち寄りましょう ・「重度化」の対応 ・医療・福祉・地域との連携 ・利用者の状況から見えてくる役割 ・相談機能	I	高齢者住宅のあり方	宮城 宮城野の里 施設長 小野 ともみ	福岡 ケアハウスらいふ戸畑 施設長 内田 義則
J	10 養護老人ホームの 役割、あり方を考える	新制度移行後のいろいろな影響や課題について論議しましょう ・自治体への働きかけ、低所得、社会適応困難高齢者の実態 ・養護老人ホームのあり方、事例交流 ・「外部利用型」の導入など制度転換への対応	J	養護老人ホーム	長野 ハートヒル川路 事務長 西田 克美	大阪 槻ノ木荘 施設長 中村 公三
K	11 福祉施設における 事務の役割を考える	事業の多様化、制度改正、厳しい経営環境のなか、「実務の理」としての役割がますます重 要になっています。また、行政や地域との関係づくりの上でもその能力を求められていま す。事務の役割についての論議を深めましょう ・福祉施設における事務部門の役割 ・事務、経理、総務業務の効率化、経営データの活用・提言 ・施設部門からみた介護保険制度の問題 ・施設の民主的運営の課題、各種委員会など事務局など運営への参加 ・全職員参加の経営、処遇改善へ向けたとりくみなど	K	事務の役割	兵庫 にしのみや苑 施設長 細岡 雄二	長崎 社会福祉法人春風会 副理事長 柴田 親男

座長 助言者は、変更になる場合がありますのでご了承ください。
会場の定員に達し次第、「第2希望」の分科会にご参加いただくこととなりますのでお申し込みはお早めをお願いします。(申込用紙参照)



分科会で発表する演題を募集しています!!

昨年の第8回職員研究交流集会は大阪で開催され、500名もの参加者が多いに学び、交流を深めました。2日目におこなわれた分科会では、各現場のテマにあわせて21の分散会が構成され、全国から116本もの実践報告が寄せられました。

日々、一生懸命高齢者に寄り添いながら、ゆたかな援助実践を続けられている全国のみなさん。

**ぜひとも日ごろの地道な実践を福岡に持ちより、ともに学び合い、「明日からのエネルギー」に変えていきましょう！
前頁の分科会一覧表をご参照のうえ、発表をご検討ください！！お待ちしております。**

発表していただける方は、次ページ「演題募集のエントリー」用紙に必要事項をご記入の上、21・老福連事務局までFAXにてお送りください。この「演題募集のエントリー」は9月10日(木)が締め切りです。

なお、当日、参加者にお配りする資料集に掲載の<発表原稿>は、下記「研究・実践報告の提出について」をご参照の上、9月30日(水)までにご提出下さい。同じく、発表時に<パワーポイントを使用する場合>につきましては、次ページの「Power Pointを用いての発表についてのお願い」をご参照の上、10月20日(火)までに郵送で下記住所までお送りください。

～研究・実践報告の提出について～

21・老福連第9回職員研究交流集会の成功のため、研究・実践報告をもつてご参加いただきたく、発表原稿をお待ちしております。つきましては、当日配布の資料集に掲載する原稿を下記のとおりご提出いただくようお願い申し上げます。提出いただいた原稿はそのまま資料集として印刷させていただきます。

1. 発表原稿の様式： 下記のとおり *文書はワードにて作成のこと

タイトル○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○(フォントサイズ12)
- サブタイトル○○○○○○○○○○○○○○○○ - (フォントサイズ9)
都道府県名 所属の施設種別名 施設名
職名 氏名
(都道府県名以下フォントサイズ10.5)

(章立てをする場合は次の数字を当てる) 1 章 1) 節 項
用紙サイズはA4 / 余白: 上下・左右とも20ミリ / 横書き / 1行45字・1枚45行 / (概ね2～4枚程度)
<本文の文字> MS明朝、フォントサイズは10.5 <タイトル> は上記例示のように□□□□で囲み、
文字はMSゴシック(フォントサイズは、タイトルは12、サブタイトルを付す場合はフォントサイズ9、その他は10.5)
Wordファイル名: [{分科会No}] [県名]_ [施設名]_ [氏名] (例) 1-2 福岡いきいき博多次郎
章立てをする場合には、章に1, 2, 3の数字、節に1), 2), 3)のように片)の数字、項に)の囲いのある数字を用い、本文との違いを明確にするため、文字はMSゴシックとする。
Wordソフトの「2007」で作成した文書は、必ず「2003形式で保存」をしてから添付をすること。
発表方法は資料集に掲載されたレジュメ等に基づくものとする。なお、パワーポイント等の使用については、演題エントリーの時点で申し出があったものしか認められません。
発表原稿のワード文書に写真等を添付して送信される場合、ある程度容量が大きい分については別途記憶媒体に保存の上、郵送にて送付していただくようお願い致します。
研究交流集会に参加できない方々とも実践交流を図る主旨で、研究・実践報告(発表)された内容を情報交流誌「ぼとぼら」の特集記事として取り上げることもございます。ご承知おきください。

2. 発表時間： 1演題 10～20分程度
各分科会の演題数によって異なるためあくまで目安です

3. 提出期限： 9月 30日(水)必着

4. 提出先： Eメールにて Wordファイルを添付
青葉苑(担当:榎本)アドレス【E-mail 9roufuku@aoba-en.jp】

～ Power Pointを用いての発表についてのお願い ～

1. 使用機材について

発表に使用する機材はパソコン・プロジェクターとします。パソコン・プロジェクターおよび接続用ケーブルは主催者側で準備致します。(なお、「発表演題募集」応募の際、ノートPC持参可とお答えいただいた方には、事務局から個々にお問い合わせする場合がありますのでご了解ください)

2. データの事前提出について

あらかじめ、発表データを下記住所に送付いただくこととします。提出はCD-Rにてお願い致します。(メール添付はご遠慮ください)なお、提出の際にはP.Pのバージョンを必ずご明記下さい。また、動画の使用は不可です。

また作成の際には、MS明朝、MSゴシック等Windows添付の標準フォントで、写真等を用いる場合は、アクセサリのペイント等で表示される実寸サイズにあらかじめ小さくしたものをご使用いただきますようお願いいたします。

3. 発表について

発表時は、各分科会で使用するPCのデスクトップにPPファイルをコピーしておきますが、操作は各自で責任を持ってこなして下さい。予め動作確認などは主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応して頂く事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願い致します。

4. 提出期限： 10月 20日(火) 必着

5. 提出先：

特別養護老人ホーム青葉苑 (担当:榎本・エノキモト)
〒850-0952 長崎県長崎市戸町4丁目7-17
TEL 095-898-5557 FAX 095-898-5536
E-mail 9roufuku@aoba-en.jp

～ 各期日を守ってご提出ください ～

運営にご協力願います

「演題募集のエントリー」✕切は9月10日(木)です

エントリー用紙に必要事項をご記入いただき、老福連事務局まで
FAXで送信願います。【番号 075 - 494 - 1135】

「発表原稿」の提出✕切は9月30日(水)です

Eメールにて Wordファイルを添付を添付の上、青葉苑(担当:榎本)
までお送りください。E-mailアドレスは【9roufuku@aoba-en.jp】

「PowerPointデータ」の提出✕切は10月20日(火)です

データをCDにコピーの上、青葉苑(担当:榎本)までお送りください。
送付先【〒850-0952 長崎県長崎市戸町4丁目7-17】まで!



～ 演題募集のエントリー ～

「演題募集のエントリー」〆切は9月10日(木)です

施設名		施設住所	〒
施設種別		TEL	
		FAX	
発表者名		職種	
必ずご記入ください 第() 希望分科会 (分散会番号も忘れず)	演題		
発表内容 (簡潔に)			
必ずご記入ください 発表の際にパワーポイントの使用を予定していますか 動画は不可	している ・ していない (いずれかに を)		
ノートPC持参 (パワーポイントソフトが入ってなくても可) 現地で用意できない時はお願いすることもあります	できる ・ できない		
上記「PC持参」の設問で「できる」とお答えいただいた方 Windowsのバージョン パワーポイントのバージョン	該当箇所をチェック願います 98 Me XP VISTA 2000 2002 2003 2007		

問い合わせ ・ 送付先 : 21老福連 事務局 TEL 075 - 494 - 1115

FAX 075 - 494 - 1135



アクセス ～ 会場のご案内 ～

メイン会場 福岡大学

1

福岡市城南区七隈八丁目19-1 電話 092-871-6631(代)

最寄り駅：福岡市営地下鉄 七隈線「福大前」 ◇ 福岡大学の学内案内図は別ページにあります ◇



飛行機

福岡空港より約45分
 地下鉄空港線で「天神」
 ↓ 約12分
 「天神」にて「天神南」に乗換
 ↓ 約16分
 地下鉄七隈線で「福大前」
 天神での乗換に7～8分



新幹線

JR博多駅より約35分
 地下鉄空港線で「天神」
 ↓ 約6分
 「天神」にて「天神南」に乗換
 ↓ 約16分
 地下鉄七隈線で「福大前」
 天神での乗換に7～8分



地下鉄七隈線「福大前」駅 1番出口

◎受付会場 12月5～7日

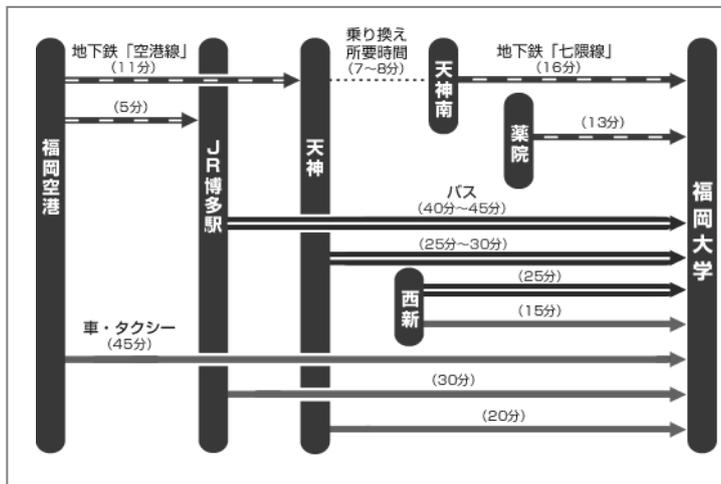
文系センター棟にて

◎全体会場 12月5日・7日

8号館 831教室にて

◎分科会場 12月6日

A棟 6階～7階にて



交流会会場 KKRホテル博多

2

福岡市中央区薬院4-21-1 電話 092-521-1361(代)

KKRホテル博多 2階 スピカ・シリウスの間

最寄り駅：地下鉄七隈線 「薬院大通駅」

1番出口を右方向へ徒歩3分

当日は1番出口付近に案内要員がいます

会場(福岡大学)からのアクセス

地下鉄七隈線で1本・6駅 (地下鉄所要11分)





宿泊会場のご案内

地図記号	場所	住所
1	福岡東映ホテル	福岡市中央区高砂1-1-23 (TEL092-524-2121) 地下鉄七隈線「薬院駅」「渡辺通駅」より徒歩3～4分
2	ホテルエルビー福岡	福岡市中央区高砂1-1-25 (TEL092-534-3111) 地下鉄七隈線「渡辺通駅」下車、1番出口を徒歩2分
3	ホテル一楽	福岡市中央区清川2-5-5 (TEL092-531-0561) 地下鉄七隈線「渡辺通駅」下車、約800メートル・徒歩10分
4	KKRホテル博多	福岡市中央区薬院4-21-1 (TEL092-521-1361) 地下鉄七隈線「薬院大通駅」下車、1番出口を右方向へ徒歩3分



1 福岡東映ホテル

3 ホテル一楽

2 ホテルエルビー福岡



4 KKRホテル博多

交流会会場のご案内をご覧ください



福岡大学 学内案内図



◎受付会場

12月5～7日

文系センター棟

「福大前」駅 1番出口

◎全体会場

12月5日・7日

8号館 831教室

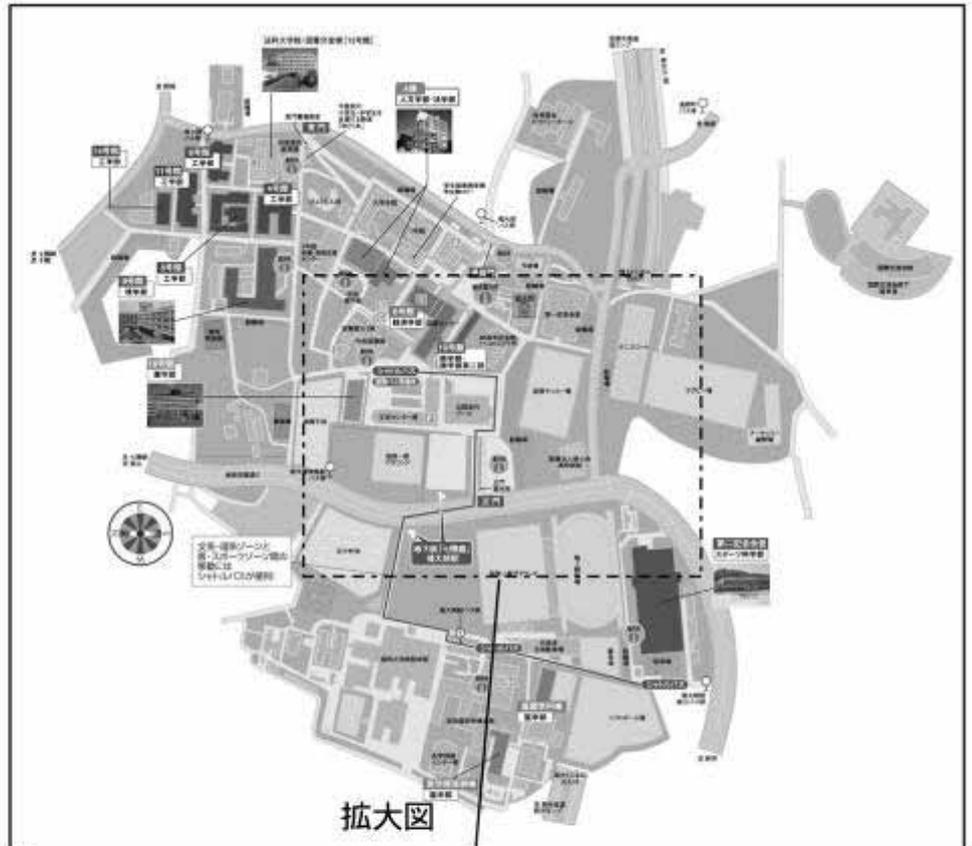
「福大前」駅 1番出口

◎分科会場

12月6日

A棟 6階～7階

「福大前」駅 1番出口



地下鉄の1番出口付近に正門があります。学内に入るとすぐに室内プールの大きな建物に突き当たります。そこを左に進めば受付会場の「文系センター棟」です。（上記地図の 印のところ、受付場所）

今年も！ 全国からの 地酒をお待ちしております

地酒の送付先

〒810-0022 福岡市中央区薬院4-21-1

電話 092-521-1361 (代)

KKRホテル博多 (2階 スピカ・シリウス)

備考欄に「21・老福連 交流会用のお酒」と明記

交流会用 掲示板！！

交流会担当

熊本チーム

今年も！ 施設の「一芸」をご披露ください！

熊本チームからそと「依頼の電話」がかかってきたときには...軽やかにお引き受けください。

今年は！

九州名物がド〜ンと並びます

博多ラーメンの屋台も出ます！メニューはなんと50品以上！

エイサーの踊りをたのしめます

沖縄の「エイサー」までたのしめる！南国気分を味わってください！！

シメはやはり、アノ「踊り」でしよう・・・。

九州で一番有名な踊りといったらコレしかない！

長崎 & 熊本チームが舞台を軽やかに舞いますよ～、ご期待ください

交流会に関するお問い合わせ & 舞台出演のご要望は・・・

坂本の里一灯苑(光永) 電話:096-553-7277 か

たくまの里(作取)

電話:096-382-3222 までお気軽にご連絡ください！！

みなさんの参加をお待ちしております♪





21・老福連 第9回職員研究交流集会 in ふくおか ~ 参加・宿泊等のご案内 ~

【1】 お申込方法のご案内

参加者は、申込書に必要事項を記入の上、9月19日(土)までにトップツアー(株)福岡支店へFAXまたは郵送にてお申込下さい。

お申込締切日 2009年 9月19日(土)

お申込受付後、11月上旬頃より参加確認書(参加券・宿泊利用券など)・請求書・振込依頼書をお送りさせていただきます。
費用振込については、請求書をご確認の上、同封の振込用紙にて11月20日(金)までに指定の口座へお振込をお願いします。

【2】 21老福連 職員研究交流集会 参加費のご案内

ご参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	6,000円	8,000円	10,000円

【3】 宿泊・交流会のご案内

宿泊 宿泊は、以下のホテルをご用意しております。(表示料金は一人あたりの金額)

ホテル名	ご利用日	シングル	ツイン	最寄駅(アクセス)
福岡東映ホテル	12/4~6	7,800円	7,275円	「薬院」 「渡辺通」 徒歩3~4分
ホテルエルピー福岡	12/5~6	7,800円	5,400円	「薬院」 「渡辺通」 徒歩3~4分
ホテル一楽	12/5~6	8,535円		「薬院」より徒歩13分
ホテル一楽(バスなし)	12/5~6	7,485円	6,645円	「薬院」より徒歩13分
KKRホテル博多	12/5~6	11,000円	10,250円	「薬院大通」より徒歩3分

*いずれの表示料金も1泊朝食付きの金額で、お部屋タイプはすべて洋室です。

ただし、<ホテルエルピー福岡>の朝食はおにぎりのみの軽食となります。あらかじめご了承ください。

*ツインをご希望で同室希望者がございましたら、その旨を参加申込書該当欄にご記入願います。

交流会 交流会会場はKKRホテル博多にておこないます。(地下鉄七隈線薬院大通駅・1番出口を右方向へ徒歩3分)

参加費 お一人様 8,500円

【4】 昼食弁当のご案内 : 分科会会場にて希望者にお弁当をご手配いたします。ご希望の方は、申込書にご記入下さい。

12/6(日) 分科会会場 お弁当(お茶付き) 1,200円

【5】 変更・取消のご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要ですのでご注意ください。変更、取消の場合は必ずFAXまたは郵送にてお願いします。また、変更・取消後のご返金については、本会終了後、速やかに行いますので、ご了承ください。

取消日(旅行開始日の前日から起算してさかのぼって)	大会参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
大会申込後から	100%	無料	無料	無料
1) 21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
2) 20日目にあたる日以降の解除(日帰り旅行は10日前)(3~6除く)	100%	10%	無料	無料
3) 7日目にあたる日以降の解除(4~6を除く)	100%	20%	無料	無料
4) 旅行開始日の前日の解除	100%	50%	50%	50%
5) 旅行開始日の当日の解除(6を除く)	100%	100%	100%	100%
6) 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

お申し込み後の変更・取消は必ずFAXにてお願い致します。(電話不可)

上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引き、大会終了後にご清算いたします。

変更・取消等によるご清算は、終了後に指定の口座にお振込みいたします。(事務手続き上、多少お時間を頂きます。)

大会当日のご返金は致しませんのでご了承ください。

【6】 申込・お問い合わせ先

トップツアー(株) 福岡支店 担当:千代島 誠 営業時間 平日:9:20~18:00 土曜:9:20~12:40 休:日曜・祝日
〒810-0001 福岡市中央区天神3-11-1 (天神武藤ビル4F) 電話 092-739-0010 FAX092-739-7773

21・老福連 第9回職員研究交流集会 参加申込書・費用内訳書

申込日 < 月 日 > 県名 _____ 所属施設名 _____ TEL () - -
 連絡可能な時間帯 < 時 ~ 時 > 担当者氏名 _____ FAX () - -
 施設所在地 〒 _____

フリガナ 氏名	性別	職種	参加 (下記注釈参照)			分科会 (下記注釈参照)			宿泊 (下記注釈参照)		交流会	昼食 (お茶つき)	合計金額	ツイン 利用時 同室 希望者	名簿への 氏名掲載 の可否
			12/5	12/6	12/7	第1 希望	第2 希望	役割	12/5	12/6	12/5	12/6			
			土	日	月				第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	8,500円	1,200円			
フクオカ ヨシコ (例)福岡 良子	男(女)	施設長				A - 1		記録	1 - S 1 - T	4 - S 4 - T	×		30,000円 28,725円	熊本 クマ子	(可)・否
ナガサキ タロウ (例)長崎 太郎	(男)女	相談員	×		×	C	F		3 - T (B) 3 - S (B)	なし なし			22,345円 23,185円	博多 明太	可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否

お申し込み方法

- * 上記申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送またはFAXにて下記申し込み先へお送りください。
- * 分科会の座長・記録・助言者・発表者の方は、希望分科会の「役割」の欄にご記入ください。
- * 手話通訳が必要な場合は、お手数ですが「老福連事務局」までご連絡願います。

集会参加費について

* 3日間参加：10,000円 / 2日間参加：8,000円 / 1日間参加：6,000円

ホテルの料金表について

- * いずれの表示料金も1泊朝食付きの金額です。
- * < ツイン > の表示料金は一人当たりの金額です。

いただいた個人情報は、この集会の目的以外に使用しません。
 当日配布の資料集に参加者一覧を掲載します。名簿への氏名掲載の可否を上記欄に をおつけください。
 (記載なき場合は可能と判断させていただきます。)

宿泊ホテル料金表		シングル	ツイン	シングル バスなし	ツイン バスなし
		S	T	S(B)	T(B)
1	福岡東映ホテル	7,800円	7,275円		
2	ホテルエルピー福岡	7,800円	5,400円		
3	ホテル一楽	8,535円		7,485円	6,645円
4	KKRホテル博多	11,000円	10,250円		

< 申込先 > トップツアー(株) 福岡支店
 支店長：松田 秋弘 担当：千代島 誠
 営業時間 平日：9:20～18:00 土曜：9:20～12:40 休：日曜・祝日
 〒810-0001 福岡市中央区天神3-11-1(天神武藤ビル4F)
 電話 092-739-0010 FAX 092-739-7773